

厚生労働省 健康危機緊急時対応体制整備事業
令和6年度保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）
企画運営リーダー研修
実施要綱

一般財団法人 日本公衆衛生協会

1 目 的

災害時健康危機管理支援チーム（以下、「DHEAT」という。）は、これまで自然災害に伴う重大な健康危機発生時に災害において防ぎ得る死と二次健康被害の最小化に対応することを活動理念とし、被災都道府県の保健医療福祉調整本部及び被災都道府県等の保健所の指揮調整機能等における業務を補助する活動をされてきました。

DHEAT 養成研修は、令和6年度保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）として開催を予定しております。内容としては被災した都道府県、保健所設置市及び特別区（以下「都道府県等」という。）の健康危機管理組織が担う、発災直後から亜急性期までの保健医療提供体制の再構築及び避難所等における保健予防活動並びに生活環境の確保にかかる、必要な情報収集、分析評価、連絡調整等のマネジメント業務等の指揮調整機能等を担う人材を養成し、地方公共団体の連携強化を図り、地域における災害対応力の底上げを図ることを目的としております。

本研修では、前述した保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）実施時の演習ファシリテーター（リーダー等）として、また各都道府県及び指定都市の本庁衛生主管部（局）における、災害対応研修等の企画立案・実施の実務を担うことができる人材（講義・演習の講師及びファシリテーター等）の養成を目的としております。

2 主 催 一般財団法人 日本公衆衛生協会（以下「日本公衆衛生協会」という。）

3 開 催 令和6年8月22日（木）9:30～17:00

4 開催期間 研修当日：1日間
事前学習（e-learning 等約3時間）を研修前に受講していただきます

5 受講対象者 厚生労働省健康・生活衛生局健康課長通知 健生健発 0613 第1号に準ずる
*上記通知「2. 企画運営リーダー研修受講者（基礎編研修ファシリテーター等）の推薦について」を参照

6 受講定員 各都道府県（指定都市含む）2名
（指定都市が複数あり、保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）開催に関連して、増員が必要な際には、事務局にご相談下さい）

7 実施方法 参集
会場：A P 日本橋 FG ルーム 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6階

8 研修目標

1. 一般目標

- ・ 発災直後から被災地保健所として実施すべき役割と行動、および、DHEAT 活動内容について理解し、平時から備えることができる。
- ・ 本研修受講後、各都道府県等において保健所災害対応研修（DHEAT 基礎編）を実施するに

- あたり、各都道府県会場でのファシリテーターを担うことができる。
- ・ 保健所災害対応研修(DHEAT 基礎編)受講者等と共に、今後各地域の保健所等において研修の企画運営ができるようにする。

2. 個別行動目標

- (1) 発災直後の保健所の役割を理解し、対応方針を示すことができる。
 - ・ 初動時に必要な情報収集(方法、内容、収集先等)ができる。
 - ・ 地域保健医療福祉調整本部等を立ち上げることができる。
- (2) DHEAT の役割・活動を理解し、保健所(地域保健医療福祉調整本部等)への支援活動を行うことができる。
 - ・ DHEAT として活動できるよう、心得を知り平時からの準備ができる。
 - ・ 派遣要請を受けてから、出発までの準備事項を理解し、準備ができる。
 - ・ 保健所(地域保健医療福祉調整本部等)での支援について、必要な事項を理解し、支援ができる。
- (3) 被災地域保健所に必要な役割を知り、平時からの地域保健医療体制を整えることができる。
 - ・ 災害時の地域保健医療における課題を理解し、保健医療提供体制の再構築をすることができる。
 - ・ 被災地域への保健予防提供のために必要な、支援チーム及び物的資源の配分調整を行うことができる。
 - ・ 地域保健医療福祉調整本部会議等、被災地域に必要な会議体の設置や運営を行い、対応をすることができる。
 - ・ 被災地域保健所への支援活動やDHEAT と連携して活動する関係団体を知り、活動の特徴を理解し連携することができる。

9 事前学習について

- ・ 研修当日までに、事前学習(e-learning 等)が必要となります。
- ・ 事前学習カリキュラムについては、研修受講決定後日本公衆衛生協会研修システム(以下「研修システムという」。)よりご案内させていただきます。P4 参照。

10 当日のカリキュラム(予定)

開始時刻	終了時刻	スケジュール	方法	具体的内容	講師（予定）
9:30	9:40	各班参加者による自己紹介			
9:40	12:00	導入・演習1：災害時の公衆衛生対策（初動対応）	講義 演習	発災直後の保健所の活動について、DHEAT ハンドブックを参考に、ロールプレイ形式で対応演習を行う。保健所初動、情報収集、地域保健医療福祉調整本部等の立ち上げなど。	全国保健所長会
12:00	13:00	昼食・休憩（60分）			
13:00	14:10	演習2：避難所情報・DHEAT 活動	演習	避難所情報分析ツールの利用法を知り、DHEAT としての公衆衛生支援活動を考える。	全国保健所長会
14:20	16:40	演習3：災害時の公衆衛生対策（保健予防活動）	演習	外部からの保健師、各種支援チーム及び物的資源の配分調整を行う。災害時の諸問題に対する関係機関との連携について考える。関係者による会議を開催し、情報共有や対応について検討する。	全国保健所長会
16:40	17:00	研修全体の質疑応答		研修全体を通しての総括を行うとともに、災害時健康危機管理支援チームに関する受講者の共通認識を醸成する。	全国保健所長会

（備考）

- ・上記研修内容やスケジュールは、変更となる可能性があります。

【研修企画、並びに実施協力】

地域保健総合推進事業 全国保健所長会協力事業

「災害時健康危機管理活動の支援・受援体制整備と実践者養成事業」

分担事業者：西田敏秀（宮崎県延岡・高千穂保健所長）

事業協力者、助言者の先生方（氏名は研修当日の名簿に記載予定）

1.1 受講者の推薦及び決定

- (1) 各都道府県において、受講者として推薦する職員をとりまとめ、添付の受講登録票に記載の上、日本公衆衛生協会へ提出する。

申込締切日：令和6年7月10日

- (2) 各都道府県および指定都市から推薦された受講者を日本公衆衛生協会において最終決定し、各都道府県担当者へ連絡する。
- (3) 研修システムから、受講者本人へメールにて受講決定連絡・システム登録を案内する。
また、研修当日の詳細および旅費に関しても受講者本人へ直接案内する。
- (4) 受講者本人が研修システムにログインし、必要な情報を入力の上受講登録を行う。

【申込みから研修参加までの流れ】

1. 申込：都道府県が受講者をとりまとめ、添付の一覧表に推薦者名を記載し、下記担当者へ申込をする。

申込先：DHEAT 研修担当 由解・高岡 kenshu@jphakenkouiki.mhlw.go.jp

2. 受講決定：日本公衆衛生協会から受講者本人に受講決定の連絡通知が届く。
研修システム (HCM-JPHA : noreply@hcm-jpha.jp) から受講者本人へメールにて受講決定の連絡。

3. 受講登録：受講者本人が研修システム (<https://hcm-jpha.jp/>) にログインし、受講登録を行う。 注）受講者本人が研修システムに登録する

4. 事前学習：研修システム内の事前学習サイトで資料を取得し e-learning を受講する。

5. 企画運営リーダー研修(東京会場)に参集し参加する。

6. 保健所災害対応研修 (DHEAT 基礎編) に、各会場でファシリテーターとして参加する。
当日の Zoom アドレスは、各都道府県担当者へご案内いたします。

12 その他

- (1) 研修に係る受講料は無料とします。
- (2) 受講承認された者の代理出席は不可とします。
- (3) 研修システムへのアクセスや外部とのやりとりが可能な端末を準備すると共に、以下のドメインが閲覧可能になるよう準備をお願いします。
hcm-jpha.jp、*.hcm-jpha.jp（サブドメインも利用予定のため2つとなります）
- (4) 企画運営リーダー研修に参加する旅費については、日本公衆衛生協会の健康危機緊急時対応体制整備事業費から支出いたします。
なお、令和6年度の保健所災害対応研修(DHEAT 基礎編)にファシリテーターとして参加する旅費についても、日本公衆衛生協会の健康危機緊急時対応体制整備事業費から支出いたします。事務手続きの詳細は、ご本人へ追ってご連絡いたします。
- (5) 研修受講修了者に対する修了証書の発行を行うとともに、研修システムにおいて修了者名簿の管理を行います。
- (6) その他、本研修の実施に関し必要な事項は日本公衆衛生協会の定めにより実施します。

【お問い合わせ先】

一般財団法人 日本公衆衛生協会

DHEAT 研修担当：由解・高岡

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号

TEL：03-3352-4283 FAX：03-3352-4282

E-mail kenshu@jphakenkouiki.mhlw.go.jp

yuge@jpha.or.jp/ takaoka@jpha.or.jp